

肺がん講演会を開催します

肺がんに対する正しい知識を身につけ、肺がんを予防するために講演会を開催します。皆さんお越し下さい。

「知っておきたい肺がんの知識」
～予防と早期発見のために～

講師 鳥取大学分子制御内科学 清水 英治 教授

日時 6月30日(火) 午後6時30分から 1時間

会場 西伯病院 (地域交流ホール)

参加費 無料

増えている肺がん

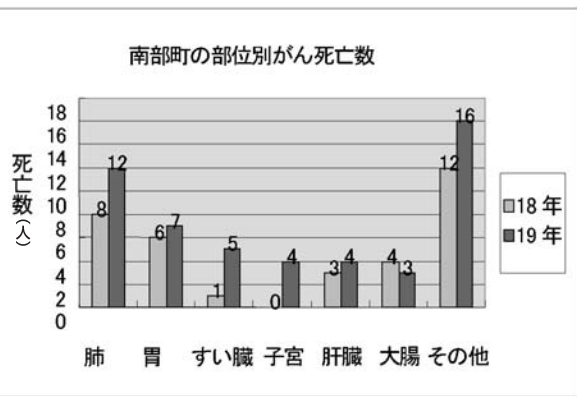
肺がんの現状

「がん」は昭和56年より日本国民の死因の第1位を占め、年々増加し、全死者の3人に1人の割合となっています。その中でも肺がんは、最も多く、がんで亡くなる人の5人に1人となっています。

南部町のがん死亡の現状

南部町でも肺がんが原因で死亡

される方が増える傾向にあり、がん死亡の1位は肺がんとなっています。

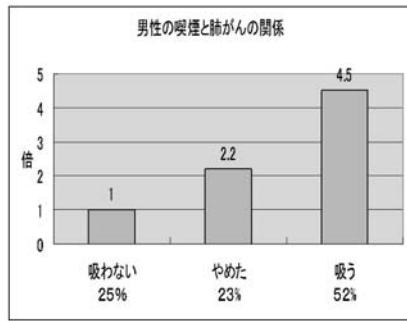


肺がんの予防

喫煙者に多い肺がん

肺がん発症の最大のリスクは喫煙です。特に男性喫煙者が肺がんになる確率は男性非喫煙者の4・5倍にもなります。

禁煙すると5年で肺がんリスクは半分に減ります



最初から喫煙しないことが最も大切ですので、小、中学校からの青少年に対する禁煙教育をする必要があります。※とっとり喫煙問題研究会

喫煙の健康に対する影響

喫煙は肺がんの発生に直接的に関与するのみならず、肺気腫、慢性気管支炎、虚血性心疾患（狭心症・心筋梗塞）、胃・十二指腸潰瘍などの原因にもなります。また、これらの疾患を持った人が肺がんになると肺がんの治癒が妨げられます。

副流煙による健康被害

タバコの有害物質は主流煙より副流煙に多く含まれています。受動喫煙による肺がんのリスクはアスベスト（石綿）の100倍です。喫煙をされる方は分煙を実行す

るなどマナーを守りましょう。

肺がんの早期発見

こんな症状は危険サイン

- 治りにくいせき
- 血痰
- 胸痛
- 息切れ
- 発熱
- 声のかれ
- 呼吸時のゼーゼー音

肺がんによる症状には、咳、痰、血痰、発熱、胸痛などがあります。このような症状があれば早めに病院を受診して、検査を受けましょう。

6月から肺がん検診が始まります

がんは無症状の時期に発見しないと早期発見は難しいとされていますので検診を受けることが必要です。

肺がんは「胸のレントゲン検査」や「たんの検査」によって早期に発見し、適切に治療すれば、ほぼ治癒できるようになっています。

町では6月から9月まで肺がん・結核レントゲン検診を行います。各集落会場をレントゲン車で巡回します。料金は「健康手帳」を持ってお出